

O022-P20

会場:コンベンションホール

時間:5月23日 16:15-18:45

多様な大地に成り立つ自然と人々の暮らし 山陰海岸ジオパークの例 Natural environment and people's lives based on geodiversity -Case studies in the San'in Kaigan Geopark?

松原 典孝^{1*}, 先山 徹¹, 三田村 宗樹²
Noritaka Matsubara^{1*}, Tohru Sakiyama¹, Muneki Mitamura²

¹ 兵庫県立大 自然・環境研 ジオ環境, ² 大阪市立大 理 地球
¹Inst. Nat. Env. Sci., Univ. Hyogo, ²Geosci., Osaka City Univ.

地域の生態系や風土, 人々の暮らしはその地域の大地の性質「地形・地質」の上に成り立ち, また大地の履歴に応じて変化している。現在, 持続可能な地域づくりの新たな試みとして注目されている「ジオパーク」は, 地質的・地理的資源とその上に成り立つ地域独自の自然・文化・産業等を有機的に結びつけ活用しようとするもので画期的である。

鳥取県, 兵庫県, 京丹後市の3府県6市町からなる山陰海岸ジオパークには, 日本海形成に伴う多様な地形・地質が発達し, その上に豊かな自然環境や人々の暮らしが成り立っている。リアス式海岸や海岸段丘, 砂丘地等山陰海岸ジオパークで見られる特徴的地形の多くはその特徴的な地質分布や構造発達史により生み出されたものである。これらの特徴的地形を, 人々は風待港や漁港, 耕作地等として古くから活用している。神鍋高原では, 神鍋火山群起源の黒ボク土を高原野菜の栽培に, スコリア層に浸透し, 下流で湧水する豊富な地下水を鱒の養殖等に利用している。松山基範博士によって地磁気逆転が発見されるなど, 地質学発展に大きく寄与している玄武洞を構成する固い玄武岩溶岩は, 豊岡盆地に厚い土砂を堆積させる一因となり, そこでできた低湿地はコウノトリを育み, そこに生えるコリヤナギは柳行李の材料となって現在のカバン産業につながっている。このように, 山陰海岸ジオパークでは, 大地の性質が地域の文化の形成や自然環境にも密接に関連している。

大地の性質とその上に成り立つ自然・文化・産業等の関わりを知ることは, 観光開発のみならず防災や無理のない地域開発の面でも重要であり, 持続可能な地域づくりをする上で極めて有効である。また, 地域資源にジオ的背景をつけることは地域のブランド力アップにつながるものとして期待できる。一方で, 地形・地質と生態系や文化, 人々の暮らしの結びつきに関する研究は未だ十分とは言えず, 今後の展開が望まれる。

キーワード: 山陰海岸, ジオパーク, 地質多様性
Keywords: San'in Kaigan, geopark, geodiversity